

【News Release】

当社グループのホテル開発戦略について

昨日、平成30年11月21日付適時開示でもご案内いたしましたとおり、当社は「ホテル東山閣」（京都市東山区）運営会社の株式を取得し、外資系ラグジュアリーホテルブランドとの提携を軸にリブランドの計画を進めて参ります。

また、当該案件を含め、現在当社グループは京都エリアに複数の既存物件を取得しておりますが、特に立地や規模を重視し、史跡名勝地に近く、事業承継や老朽化等の問題を抱えている老舗旅館・ホテルを中心にリノベーションや再開発を行って参ります。

それらのいずれも、外資系ラグジュアリーホテルブランドと協同し、リブランド等による付加価値の向上を図ることによって、中期経営計画の目標である「2020年までに管理資産1,000億円（管理資産ベース）程度に、ホテル売上100億円（客室数として1,700室程度）」の達成を目指して参りますので、改めまして以下の通りご案内申し上げます。

No	既存物件名称 (若しくは旧物件名称)	リブランド等の計画
1	旧 いろは旅館（京都市東山区）	フランス・パリを拠点とし、世界95ヶ国に4,100を越えるホテルやリゾートを展開する世界最大級のホテルチェーン・アコーホテルズと提携し、同社のラグジュアリーブランドの一つである「M GALLERY」を冠称した「 KYOTO YURA HOTEL & VILLAS M GALLERY by SOFITEL 」として2019年春に開業予定（144室予定）
2	ホテルりょうぜん（京都市東山区）	現在、当該2～3のプロジェクトにつきましては既に覚書の締結を終了しているものも含め、各物件の再生コンセプトと一番近い外資系ラグジュアリーホテルブランドとの提携を視野に計画を進めております。
3	ホテル東山閣（京都市東山区）	

以上